

2025年度

名古屋柳城女子大学 名古屋柳城短期大学

一般選抜I入学試験 一般選抜A入学試験

特奨生チャレンジ試験

国 語

試験開始までに下記の注意事項をよく読んでください。

試験時の注意事項

- ① 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- ② 解答用紙は、この問題冊子に挟み込まれています。
- ③ 試験開始の合図後、解答用紙に受験番号・氏名を記入しなさい。
- ④ 受験票は机上通路側にある「受験番号ラベル」の下に置きなさい。
- ⑤ 試験時間中、机上にはこの問題冊子・解答用紙、筆記用具（鉛筆又はシャープペン、消しゴム）及び時計（計時機能のみ）以外のものは置いてはいけません。
- ⑥ 問題冊子は表紙・余白・裏表紙を除いて12ページです。ページ数を確認の上、落丁や乱丁の箇所があった場合、また解答用紙も含め印刷の不鮮明な箇所があった場合は、黙って手を挙げて試験官に申し出なさい。
- ⑦ 筆記用具を落とした場合、気分が悪くなった場合やトイレに行きたくなった場合は、黙って手を挙げて試験官に申し出なさい。
- ⑧ 途中で質問などがあるときは、黙って手を挙げて試験官に申し出なさい。
- ⑨ 試験終了後、問題冊子は回収します。
- ⑩ 試験終了まで退出できません。試験が終了しても試験官の指示があるまでは席を立たないでください。

不正行為について

- ①不正行為については厳正に対処します。
- ②不正行為があった場合、その時点で受験を取りやめさせ退出させます。

一、次の設問に答えなさい(解答はすべて解答用紙に記入すること)。

設問一、次の文章は『こども基本法』(二〇二三年四月一日施行)の第一章 総則(目的)からの抜粋である。

傍線部①から⑩のカタカナを漢字に直しなさい。

第一条 この法律は、日本国憲法及び児童のケンリ^①に関する条約の精神にのっとり、次代の社会を担う全てのこどもが、生涯にわたる人格形成のキノを築き^②、自立した個人としてひとしく健やかに成長することができ、シンシンの状況^③、置かれている環境等にかかわらず、そのケンリのヨウゴが図られ^④、シヨウライにわたってコウフクな生活を送ることができ^⑤る社会の実現を目指して、社会全体としてこども施策に取り組むことができるよう、こども施策に関し、基本理念を定め、国のセキム等^⑦を明らかにし、及びこども施策の基本となるジコウを定めるとともに、こども政策スイシン会議を設置すること等により、こども施策をソウゴウ^⑩的にスイシンすることを目的とする。

設問二、次の(1)から(5)の空欄に色を表す一字の漢字を入れ、三字熟語、あるいは、四字熟語を完成させなさい。

- (1) □ニ才 (2) □一点 (3) □科玉条 (4) □息吐息 (5) 清廉潔□

設問三、次の(1)から(5)の空欄に当てはまる一字の漢字を入れ、四字熟語を完成させなさい。

また、それぞれの意味を選択肢アからオより選び、記号で答えなさい。

- (1) 危機□ (2) 疑心暗□ (3) 絶□絶命 (4) 二律□反 (5) 用意□到

- ア なんでもないことが恐ろしくて不安になること。
イ 手抜かりのないこと。
ウ 同程度に正しいと思われる命題が矛盾して両立しないこと。
エ わずかな差で安否が分かれるような瀬戸際。
オ どうしても逃れられない困難なさだめ。

設問四、次の(1)から(5)の同訓異字について、文意を考え、アからウにそれぞれ適当な一字の漢字を入れなさい。

- (1) あく ア □くなき欲望 イ 席が□く ウ ドアが□く
(2) あらわす ア 彼が姿を□す イ 顔に怒りを□す ウ 子どもに手を□わす
(3) いためる ア 野菜を□める イ 心を□める ウ 足を□める
(4) つとめる ア 文化向上に□める イ 書記を□める ウ 役場に□める
(5) たつ ア 年月が□つ イ 消息を□つ ウ 布を□つ

設問五、次の(1)から(5)の空欄 に入る接続詞を選択肢AからEより選び、記号で答えなさい。

また、それぞれの接続詞の意味を選択肢aからfより選びなさい。

- (1) 体調が優れない。、外出は控えよう。
- (2) 寝坊してしまった。、遅刻はしなかった。
- (3) 今日は寒いですね。、お仕事は順調ですか。
- (4) 卒業証書 記念品を授与します。
- (5) 昼食は洋食にしようかな、、中華にしようかな。

- A しかし
- B ならびに
- C だから
- D それとも
- E ところで

- a 転換
- b 順接
- c 選択
- d 説明
- e 並列
- f 逆接

設問六、次の(1)から(5)の空欄 から にそれぞれ適当な数字を入れ、ことわざを完成させなさい。

なお、解答は漢数字で書くこと。

- (1) 一寸の虫にも 分の魂
- (2) 仏の顔も 度
- (3) 聞は一見にしかず
- (4) 人の噂も 日
- (5) 足のわらじを履く

設問七、次の(1)から(5)の慣用句の意味を簡潔に説明し、その慣用句を用いた例文を作りなさい。

- (1) 顔が広い
- (2) 目に余る
- (3) 肩をもつ
- (4) 手が焼ける
- (5) 足を引っ張る

二. 二次の文章を読んで後の設問に答えなさい(解答はすべて解答用紙に記入すること。なお、句読点は一字に数える。)

演劇の始まり

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、人が集まることは「よくないこと」とされ、演劇やコンサートなどの延期や中止が相次いだ時期がありました。感染症を予防するため、「不要不急の外出は控えて」という呼びかけに応えてのことです。

これまでに、私たちの世代の演劇人は、「もし戦争が起こったら、言論の自由が抑圧されるかもしれないね」と仲間たちと話すことがありました。親の世代からはそのようなことを聞かされましたから、私たちが生きている間にも、もしかしたら一度くらいは同様のことがあるのではないかと考えていたのです。⁽¹⁾

でも、まさか新しい感染症によって表現の自由が奪われるとは想像もしていませんでした。そこに追い打ちをかけるように、ロシアによるウクライナ侵攻が始まった。「戦争による言論の抑圧」に関しても、海の内こうから刻々とニュースが届きます。

感染症の予防対策は必要ですが、演劇や音楽などのライブは「不要不急」なのでしょう。

コロナ以前のデータを見ると、この二十年でCDの売り上げは激減した反面、ライブの売り上げは四倍になっていました。ロックフェスの隆盛に象徴されるように、インターネットやソーシャルメディアが普及した時代だからこそ、リアルな場に集まって一つの空間を共有することを多くの人が求めたのです。

演劇は、リアルな場に集まり空間を共有する芸術ですが、人がそのような場を求めるのはなぜなのでしょう。そもそも、人間はどのように演劇というものを生み出したのでしょうか。⁽²⁾

演劇の起源についてはいくつかの説があり、もちろん明確な答えはありません。ただ芸術の起源として一般的によく指摘されるのは宗教的な儀式との結びつきです。人間は **A** を持っているため、死を恐れたり、死を弔ったりします。ホモ・サピエンス以前の

ネアンデルタール人でも、遺骨のそばに花粉粒が大量に発見され、死者を悼むために花が供えられていたのでは、という見解もあります。

多くの宗教では、家族など大切な人を失った後に、その死を弔う儀式があります。また、悲しみから社会復帰させるために行う喪が明けるときの儀式も重要です。このような儀式は人間の **A** によって生まれたものです。宗教的な儀式では行為の再現や模倣が含まれることが多いので、ここから芸術や演劇が始まったと言われています。

また、共同体を維持するための儀式から芸術が生まれたとも考えられます。縄文時代などの遺跡を調査しても、南米のアマゾンなどでいわゆる未開の集落を調査しても、そのほとんどで焚き火を囲んで何らかの祭事を行った形跡や実例が見られます。**【1】**時代や地域が異なっていますが、人間は集い、ともに食事をし、祭事をしていく。**【2】**

また、家族や仲間と同じものを分けあって食べるのは人間だけです。**【3】**そこから発展して、大きな獲物を捕まえたときには分配の儀式を行ったり、収穫を祝ったり、自然や神に祈りや感謝を捧げたりしてきました。**【4】**これらは、経済システムとも少し違う、共同体を維持するために必要なシステムだと考えられています。

私たち人間には、見えないもの、感じているものを「表現」する能力があります。人間は太古の昔から、言葉では伝えきれない何かを、他者に伝え共有する努力をしてきたのです。

コミュニケーションの発達と演劇

私は、演劇の起源は「コミュニケーション」にあるという仮説を提唱してきました。⁽³⁾

コミュニケーションは、所属する共同体が一つだけの動物では、あまり発達しません。チンパンジーは群れで行動し、ゴリラは家族で行動します。いずれにしても、所属する共同体が一つなので、常にみんなが同じものを見て、同じ経験をすることになります。個体間で何かを伝える必要がないのです。

たとえば、美味しそうなバナナがなっている木を見つけたとき、群れで行動しているチンパンジーは群れのみんなが同じバナナの木を見ますし、家族で行動しているゴリラも家族みんなが同じバナナの木を見ることになるでしょう。同じ体験をしていれば、伝える必要はありません。

しかし人間は、家族と集落など、二つ以上の異なる共同体に所属しています。集落の仲間たちと狩りに出かけたお父さんが家族のもとへ帰ったとき、「今日はこんなに大きなマンモスがいたよ」と伝えなければ、家族にはマンモスがいたことも、どれくらいの大きさだったのかもわかりません。また、マンモスを捕ったとき、仲間たちに「今日はちょっと女房の機嫌が悪いので、肉を多めに持って帰りたい」と説明しなければ、仲間たちはその家族の状況を知ることができません。

要するに、実際の体験を共有していない人に何かを伝える必要があるため、コミュニケーションが発達してきたのです。

人間のほかに複数の共同体に所属し、重層構造を持つ社会を形成する動物としては、マントヒヒとゲラダヒヒが挙げられます。ゲラダヒヒの面白い生態について、霊長類研究の世界的権威である故・河合雅雄先生に直接お話をうかがったことがあります。ゲラダヒヒは進化の系統で見ると、チンパンジーやゴリラのような高等類人猿よりヒトから遠いのですが、家族がいくつか集まって群れを形成しています。つまり、二つの共同体に属している。彼らは、声や表情、身振り手振りが複雑で、言語能力が高いことがわかっています。

一つの共同体に所属しているゴリラやチンパンジーは、喜怒哀楽などの感情表現、そして威嚇や服従を示す鳴き声だけで充分なのですが、ゲラダヒヒには、他者を安心させたり、懇願したり、時には「まあまあ」となだめるような曖昧な表現も存在します。二つ以上の共同体に所属し、平和で複雑な社会を保つためには、このように高度なコミュニケーション(4)が必要になるのです。

人間は、自分が見たのがどんなマンモスだったかを伝えるために、言語が生まれる以前からさまざまな方法を使っていたはずですが、足音で伝える、全身を使い身振り手振りで伝える、絵に描いて伝える 一。言語はホモ・サピエンスが登場してから急速に発達したと

考えられています。それ以降、言葉で伝えるようになったのでしょう。また、人間には長期的に記憶する能力もあります。そのため、親から子へ、子から孫へと語り継がれるようになっていったと考えられます。

「昔、とてつもなく大きなマンモスが現れた。村の若者が活躍して、そのマンモスをこんなふうに住留めたんだ。あいつはそれ以来この村の英雄になった」

などという話を、言葉や身振り手振りを使って伝えていたのではないのでしょうか。当然、伝え方が下手な人もいれば、臨場感を出しながら上手に伝える人もいたでしょう。なかには話を「盛る」人もいたはずですが。

これこそが演劇の起源ではないか。私はそう考えています。

人間は演じ分ける生き物

また、「演じ分ける」も、複数の共同体に所属していることで起こる人類ならではの行為です。

私たちは、家族でいるときと、村の共同体にいるときでは、別のペルソナを演じなければなりません。ペルソナというのは、ユング心理学の概念で「自己の外的側面」を指す言葉です。

霊長類学者で、ゴリラ研究の第一人者である山極寿一さんの一番の発見は、ゴリラのオスは父親を明らかに「演じている」ということでした。

ニホンザルは、餌を前にするとボスザルと子ザルが餌を取り合います。弱肉強食の世界ではこれが普通のことです。弱い子ザルはボスザルに餌を取られてしまい、別のところで餌を探すしかありません。

ところが一夫多妻制のゴリラは、自分がとってきた餌を妻や子どもに分け与えます。ただ、すべてのオスがすべてのメスに行くというわけではありません。ボスとなり、父親になった瞬間から、自分の妻と子どもに対してのみ行う行為だといいます。つまり、父親としての振る舞いを演じているのです。

ただし、ゴリラは妻に対する態度と子どもに対する態度は同じで、いくつもの役割を「演じ分ける」ことはできません。ここが人間との大きな違いです。人間は、妻と子どもに対する態度が異なっている。私たちは、相手によってさまざまな態度をとり、「演じ分ける」ことができるのです。みなさんも、家族と過ごすとき、友人と飲みに行くとき、仕事をしているとき、それぞれ異なる B を自然に使い分けしていると自覚することがあるかと思えます。

高校生に講演会でこの話をする時、「人によって態度を変えるなんて、嘘をつけということですか」と質問されることがありますが、そういうことはありません。いくら「俺はぶれない男だ！」などと言っている先生であったとしても、教壇に立つときと、家に帰って自分の子どもと話すときでは、全く同じ態度ではないはず。もし、家でも学校でも態度が同じという人がいたら、その人は社会性のない人です。高校で、生徒たちに「先生でちゅよー」とは言わないし、幼児に向かって「遅刻するな！」とも言わないでしょう。

私は五十五歳のときに子どもが生まれたので、息子はまだ四歳です。息子はウルトラマンが好きで、朝は保育園に行く前のこんなやりとりから始まります。「きょう、おとうさん、なに？」と私が聞くと、息子は「ペギラー！」と言います。

「じゃあペギラーね。ペギラーはつよいよ！」などと言って戦いごっこをするわけです。

息子に対して理路整然としゃべってはいは伝わりません。逆に授業や講演で、息子に対するようにしゃべり、戦いごっこを始めたなら、聴いている人たちは驚いてしまうでしょう。

このように、相手や場面によって、そして自分の社会的役割によって演じ分けることが、人間を人間たらしめる重要な能力なのです。

(平田オリザ『ともに生きるための演劇』による。)

設問一、傍線部(1)「同様のこと」の具体的な内容を二十字以上、二十五字以内で説明しなさい。

設問二、傍線部(2)「人間はどのように演劇というものを生み出したのでしょうか」に対する答えとしての筆者の考えを具体例を用い、つつ四十字以上六十字以内で書きなさい。

設問三、空欄 A には同じ言葉が入る。ここに入る言葉として最も適当な言葉を選択肢1から5より選び、番号で答えなさい。

- | | | | | |
|-------|-------|--------|-------|-------|
| 1 判断力 | 2 表現力 | 3 学習能力 | 4 想像力 | 5 人間力 |
|-------|-------|--------|-------|-------|

設問四、次の一文は【1】から【4】のいずれかに入る。最も適当な箇所を選び、番号で答えなさい。

家族単位で食べる場合もあれば、村単位で食べる場合もあります。

設問五、傍線部(3)「コミュニケーションは、所属する共同体が一つだけの動物では、あまり発達しません」とあるが、その理由を四十字以上、六十字以内で書きなさい。

設問六、傍線部(4)「高度なコミュニケーション」の内容として最も適当なものを次の選択肢1から4より選び、番号で答えなさい。

- 1 その時の感情を直接鳴き声のみで示し合ように表現すること。
- 2 相手の心を和ませたり、落ち着かせたりする行為をすること。
- 3 言葉ではなく、足音や身振り手振りを交えて伝えること。
- 4 いくつかの家族が集まって生活を共にする習性のこと。

設問七、傍線部(5)「ここ」が指し示すものを二十字以上、三十文字以内で書きなさい。

設問八、空欄 B に入る言葉は何か。文中より四字で抜き出しなさい。

設問九、傍線部(6)「理路整然」の対義語となる四字熟語を次の選択肢1から4より選び、番号で答えなさい。

- 1 首尾一貫
- 2 前途多難
- 3 支離滅裂
- 4 順風満帆

設問十、次の選択肢1から5について、本文の内容と一致しているものをすべて選び、番号で答えなさい。

- 1 どんな状況であっても、ぶれることなく自分を演じることが共同体を維持するために必要である。
- 2 演劇は、古代の宗教的な儀式との関係で生まれたという説が有力である。
- 3 人間は経験や過去の記憶を後世に伝えるため、いろいろな方法を使ってきたと考えられる。
- 4 相手や場面によって自分を演じ分けることは、人間が生きていく上で必要な能力である。
- 5 マントヒヒとゲラダヒヒは、一つの共同体に属するゴリラよりも進化の系統でヒトに近い。

